

表紙「よっかいちのいいところ」

工場夜景 表紙こぼれ話は裏表紙をご覧ください。

特集

高齢になっても 暮らしやすいまちに

スマホをかざそう！【今月の動画】

- ・工場夜景
- ・狐の嫁入り道中神事(海山道神社)

見方は、裏表紙の「広報紙で動画を見よう」をご覧ください。



2月23日は
工場夜景の日!



高齢になっても 暮らしやすいまちに



ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

- 地デジ12ch (CTY)
- 2月21日(火)～28日(火)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

少子高齢化は何が問題か

「少子高齢化」。新聞やニュースでよく見かける言葉です。出生数が減少し子どもの割合が低下するとともに、平均寿命の伸びなどによって高齢者の割合が増すことをいいますが、このことが私たちの生活にどう影響するのでしょうか。

若い世代の負担が増える

少子高齢化がこのまま進むと、8年後の2025年には、65歳以上の1人を生産年齢人口(15～64歳)の1.9人で支えることになります。医療・介護・年金などの社会保障の負担が大きくなってしまふのです。



専門職が不足する

支援の必要な高齢者が増加すれば、医療や介護に携わる専門職も相当数が必要になります。しかし、生産年齢人口が減少すれば、就職する人の数も減ります。介護職などは今現在でも不足していると言われており、今後ますます人員の確保が難しくなることが予想されます。

少子高齢化への取り組み

少子高齢化によるさまざまな問題に対応し、市民の皆さんに安心して暮らしていただくために、本市では、次のようなことに取り組んでいます。

1 地域全体で高齢者を支えるために

→詳しくは4ページへ

■地域包括ケアシステムの構築を進めています

地域包括ケアシステムとは、「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「住まい」の各サービスを地域で一体的・包括的に提供して、高齢者を支える仕組みのことです。

高齢となり介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で、人生の最期まで、自分らしく暮らし続けられるようにすることが目的です。

■皆さんのご協力もお願いします

このシステムは、国・県・市などによる公的サービスだけで成り立つものではありません。近隣住民やボランティアなど、地域の皆さんのご協力が必要不可欠です。



2 地域での支え合い体制をつくるために

→詳しくは5ページへ

■「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まります

法改正により、要支援の認定を受けた人などに対するホームヘルプサービスやデイサービスを介護事業所だけでなく地域住民など多様な主体が実施できる、「介護予防・日常生活支援総合事業」が4月から始まります。

■事業の目的は

地域包括ケアを進めるには、医療や介護などの専門職によるサービス強化が必要ですが、一方で、普段の生活に関する支援（ごみ出し・買い物・掃除など）や介護が必要な状態にならないための予防が重要となってきます。

こうしたサービスを地域住民などが担うことで、より身近な場所できめ細かなサービスを提供し、「生活支援」や「介護予防」を充実させることを目的としています。

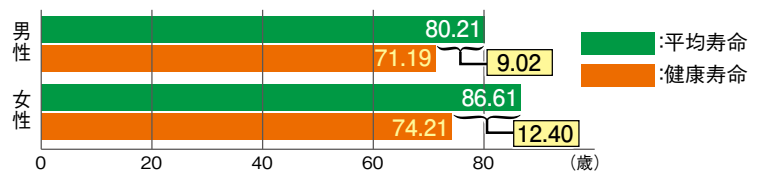


3 長く健康な生活を送るために

→詳しくは7ページへ

■健康寿命を伸ばす

健康寿命とは、日常生活に制限が無く、元気で自立した生活ができる期間のことです。平均寿命と健康寿命の差を縮め、少しでも長く、介護を必要としない生活を送ることが大切です。



平均寿命:厚生労働省「平成25年簡易生命表」

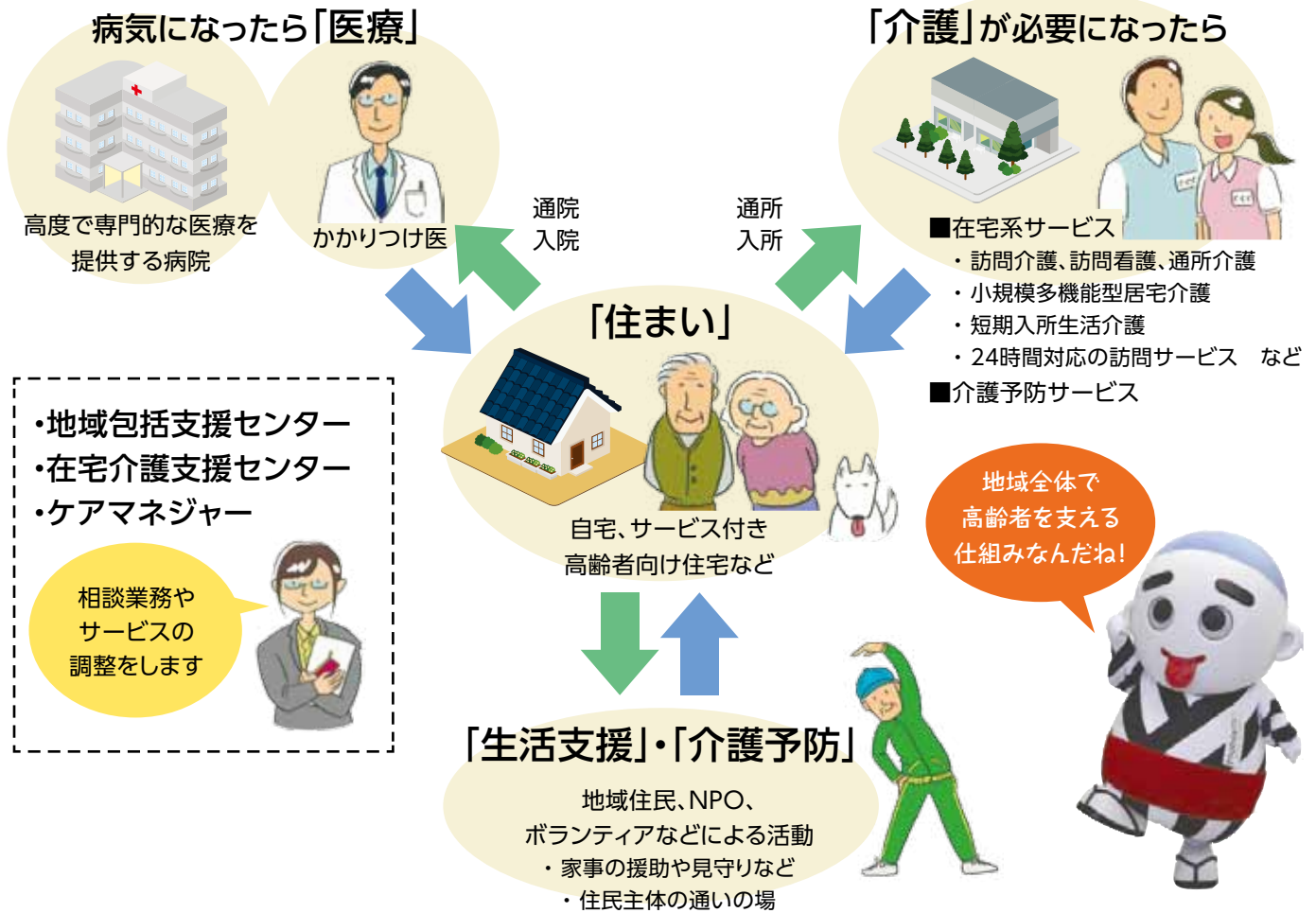
健康寿命:厚生労働省「平成25年簡易生命表」・「平成25年人口動態統計」

「平成25年国民生活基礎調査」、総務省「平成25年推計人口」より算出



地域包括ケアシステム の構築に取り組んでいます

■地域包括ケアシステムのイメージ



私たち市民に何かできるの？



支え合い・助け合う仕組みを

高齢化とともに、日常生活にお困りの人の声を聞くことが増えましたが、その中には、身近な地域住民のちょっとした手助けがあれば解決できることも多いように感じています。

すでに取り組んでいる地域も多々ありますが、今後、支え合い・助け合う仕組みをつくることで、高齢者はもちろん誰もが住みやすい地域を作っていくことが必要ではないでしょうか。

四日市市自治会連合会
会長
小川泰雪さん



地域の役に立ちたいと思うけど、何から始めたらいいの？



地域のことを一緒に考えましょう！

皆さんは、お住まいの地域で気になることはありますか。地域の困りごとを伺い、皆さんと一緒に解決する方法を考えていくのが、私たち生活支援コーディネーターです。

皆さんの「地域の役に立ちたい」という思いを、ぜひ聞かせてください。皆さんにも地域の活動に参加していただき、地域のことをもっと知っていただければと思います。そして、地域のことを一緒に考えていきましょう。

市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
ふるぼやし
古林耕平さん

市社会福祉協議会 ☎354-8144



介護予防・日常生活支援総合事業 (総合事業) が始まります



要支援の認定を受けている人など心身に不安のある人のための訪問・通所サービス(介護予防・生活支援サービス事業)と、元気な高齢者を対象とした介護予防の通いの場(一般介護予防事業)の2種類があります。

介護予防・生活支援サービス事業

[対象]
介護保険の「要支援1・2」の認定を受けた人、生活機能が低下していると判断された人が利用できます。

[内容]
居宅で家事などの生活援助や身体介護を行う「訪問型サービス」、通所施設で生活行為向上のための支援を行う「通所型サービス」などを利用できます。介護事業者や地域住民がサービスを提供します。



一般介護予防事業

[対象]
65歳以上なら、誰でも利用できます。

[内容]
住民が主体となって、運動や交流などを行う「通いの場」です。ここに参加することも、運営の手伝いをすることもできます。



軽度者である「要支援1・2」の人に対する訪問介護(ホームヘルプサービス)・通所介護(デイサービス)が総合事業の枠組みの中に移行しますが、**制度が変わることで今までのサービスを受けられなくなることはありません。**現行相当のサービスをそのまま利用でき、多様な主体(*)による生活支援・介護予防サービスの中から、ご自分に合ったサービスを選ぶこともできます。

なお、「要介護1~5」の人については、変更はありません。
*住民ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人など



お住まいの地域を担当する「地域包括支援センター」(下記)、各地区の在宅介護支援センターまたは介護・高齢福祉課(☎354-8170)へお問い合わせください。どのようなサービスを利用できるかご案内します。

名称	電話番号	担当地区
北 地域包括支援センター	365-6215	富洲原、富田、羽津、海蔵、大矢知、八郷、下野、保々
中 地域包括支援センター	354-8346	橋北、中部、川島、神前、桜、三重、県、常磐(久保田 一・二丁目)
南 地域包括支援センター	328-2618	常磐(久保田 一・二丁目を除く)、四郷、日永、塩浜、小山田、水沢、内部、河原田、楠

■「住民ボランティアによるサービス」の先行事例

市内では、既にいくつかの地区で、住民主体の助け合いの仕組みや通いの場が出来上がっています。

その一例として、地域での支え合いに取り組んでいる「高花平ちょっと手を貸して運動の会」と「NPO法人下野・活き域ネット」の活動を紹介します。

（以下の内容は1月に取材したもの。4月以降は、同様の活動を総合事業の枠組みの中で展開していく予定）



訪問によるサービス「ちょっと手を貸して運動」



ちょっと手を貸して運動の会
ひのまる
会長 日丸勇助さん

ちょっとした手助けで暮らしやすく

高花平団地では、平成20年ごろ、孤独死や認知症の人が行方不明となり後日亡くなって発見されるという痛ましい出来事がありました。こうしたことに危機感を持ち、住民同士の助け合いのシステムとして立ち上げたのが「ちょっと手を貸して運動」です。ごみ出しや掃除、庭木のせん定や草取り、通院や買い物の付き添いなど、公的サービスでは対応できないような、ちょっとした手助けで高齢者は暮らしやすくなります。社会福祉法人が団地内に作ってくれた施設で提供している食事（弁当）の配達もしていて、見守りにもつながっています。手助けする側の高齢化も進み大変なこともあります。[ありがとう]の言葉で頑張れますね。



庭木のせん定や草取りは多い依頼の一つです

通所によるサービス「下野活き域!集まるまいか」



下野・活き域ネット
たんぐち きんいち
理事長 谷口欽衛さん

集まって語り合うことが大切

下野地区では、高齢化が進んで自治会などが活動していましたが、高齢者一人ひとりが抱えるニーズに対応するのは難しい状況でした。そこで、柔軟に動くことのできるNPO法人を設立し、高齢者や体が不自由な人たちを支える活動を始めました。その中で、集まって語り合うことができる場を作ろうと、「下野活き域!集まるまいか」を考えました。この名前には、「～しよまいか」と誘い合って来てもらいたいという思いを込めています。毎月、地区内の3会場でカラオケやゲームをしたり、健康に関する講演会を開催したりしています。高齢化が進めば、元気な高齢者も増えるはず。高齢者同士でも、支援できる人が支援を必要とする人を支える、そんな活動を今後も続けていきたいと考えています。



多くの人が誘い合って来てくれます



野菜や果物などを販売するテント朝市も好評です



地域で自主的に体操が継続されるように支援しています

■ 地域で集まる手段として「体操」を

市では、介護予防に適した運動として、ストレッチ体操と筋力トレーニングをお勧めしており、理学療法士などの専門職が地域に出向いて体操の方法をお伝えしています。(5ページで紹介した「一般介護予防事業」の「通いの場」での取り組みにも適しています)



健康づくり課
理学療法士 片山英人

皆さんで集まって体操をすると、体力的に良い効果があるだけでなく、人間関係が広がったり、気分が明るくなったりし、毎日の生活に張り合いが生まれます。地域で集まる手段の一つとして、ぜひ体操を活用してください。

「体操に関心がある」「うちの地域でもやってみようかな」と思われたら、気軽にお問い合わせください。
(健康づくり課 ☎354-8291)

■ 地域の活動にお邪魔しました

みんなで続けていきたい



富田いかるが
お達者体操
代表 伊藤活美さん

月に1回のペースで集まって、体操をしたり、警察の人に「振り込め詐欺」などに関するお話をしていただいたりしています。毎回の内容をどうするか考えるのは大変ですが、こうして集まることは楽しいですね。集まってみんなでお話をすることで健康づくりに効果があると感じていますので、これからも続けていきたいですね。



編集後記

取材でいくつかの地域を訪問する中で、地域でのつながり、人と人とのつながりの大切さを強く感じました。自分が高齢になったとき、周囲との関係を大切に、人と支え合えるようになりたいと思います。長生きして充実した人生を送りたい、みんながそう思える社会を共につくっていきましょう。(介護・高齢福祉課 竹内、健康づくり課 片山、広報広聴課 吉田)

年齢に関係なく、誰でも
楽しくできる体操もあります

健康体操「エンジョイよっかいち」

子どもから高齢者まで、楽しみながら健康づくりに取り組める、本市独自の体操です。市の魅力がぎゅっと詰まった歌詞や振り付けとなっています。ぜひお試しください。



エンジョイよっかいち

動画、音楽、リーフレットなどをご覧いただくことができます

HP <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu91094.html>



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は **介護・高齢福祉課 ☎354-8170 FAX 354-8280**
健康づくり課 ☎354-8291 FAX 353-6385
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

- CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：2月11日～3月10日
月・水・金・日 9:30・20:30
火・木・土 12:30・20:30
- FMよっかいちで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。
放送日時：2月12日・26日 8:54・14:54



島崎 守さん

全国8カ所の工場夜景エリアの写真を対象とした「工場夜景・美の祭典」フォトコンテスト2016で、応募作品1,547点の中から最優秀作品賞を受賞された写真家、島崎守さんにお話を伺いました。
島崎さんには、これまで「広報よっかいち」や本市ホームページなどの掲載写真も数多く撮影していただいています。

○テーマを決めて撮り続ける

カメラマン歴は40年ほどになります。風景を撮るのが好きで、以前は北海道や上高地など遠方まで出掛けていたのですが、年を重ねるにつれ、自分の住む四日市の写真を撮ることが多くなりました。

昔から、1つのテーマを決めてそれを撮り続けるのが好きでしたね。家からほど近い四郷風致地区の竹林の風景ばかりを5年ほど撮っていた時期もありました。それが今は工場夜景というわけです。



○新しい視点で工場夜景を

四日市に住んでいると、コンビナートの見える風景は日常的過ぎて、写真を撮るといふ発想はありませんでした。7年ほど前に四日市コンビナート夜景クルーズが始まり、パンフレットやカレンダーに使う写真の依頼をいただくようになりました。いつでも対応できるよう、工場夜景写真をそろえておくようになり、連日撮影しているうちに、撮り方によって豊かに表情が変わる工場夜景に大きな魅力を感じるようになりました。

シャッターチャンスを狙って、毎朝、空の雲の様子を見るのが日課ですね。なるべく人に撮られていない新しい視点を入れたいと日々考えています。

○こん身の一枚 ～フォトコンテスト受賞～



地元四日市の者として、四日市の写真で受賞できたことがうれしいですね。写真は昨年7月に磯津の堤防から対岸を写したもので、この時は全ての条件が最高の状態でそろい、手応えを感じました。写真に込めた思いは「工場と自然の調和」で、四日市の環境の良さをお伝えできるのではと考えています。

○地元の良さを発見し発信したい

市の広報紙などを通して多くの皆さんに私が撮影した四日市の写真を見ていただけることに喜びを感じています。四季折々の美しい風景や、ユネスコの無形文化遺産に登録された鳥出神社の鯨船行事など、四日市には魅力がたくさんあります。地元の良さを発見し、今後も写真を通して発信できれば、これ以上の幸せはありません。

「こんなとき、どうすれば？」
まずは一度ご相談ください!

交通事故

保険会社の提示にそのままはんこ押ししていいのでしょうか?

借金

ずっと返済をしているのに全然借金が減りません

相続

遺産分割のことで親族間でもめており、気が重いです

離婚

本人同士では感情的になってしまい話し合いができません

その他

貸金、建物明渡し、法律顧問などなど

お一人お一人、私が丁寧に対応します!

お気軽にお電話ください!

尾市法律事務所
弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)

(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士 四日市市浜田町5番27号第3加藤ビル5F (1FはJT6が入ったビル)

交通事故被害者相談・借金問題のご相談は無料です
◆一般法律相談料(初回)30分 5,400円(税込)◆
《予約制》 ☎059-350-2080

近鉄四日市駅から徒歩1分!
JR東海道線(四日市)駅南口から徒歩1分!

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



そらんぽ 四日市へ 行こう! 第11回

もうすぐ開館2周年!
平成28年度を振り返って

平成27年3月21日に開館した四日市公害と環境未来館は来月、開館2周年を迎えます。当初の想定を大幅に上回る来館者があり、四日市公害の歴史と教訓、未来へのメッセージを多くの人に伝え、知ってもらうことができました。

今年度からは、これまでの小学5年生に加えて、中学3年生にも環境学習の一環で当館を見学してもらっ

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間 9:30~17:00 (展覧会への入場は16:30まで)
2月の休館日 2月6日・13日・20日・27日 (いずれも月曜日)
3月の休館日 3月6日(月)・13日(月)~17日(金)・21日(火)・27日(月)
※3月20日(祝)は開館します



ています。

昨年4月には、伊勢志摩サミット関連事業である「ジュニアサミットin三重」の中で、未来を担う各国の高校生28人に対し、四日市公害の経験と環境改善の取り組みを知ってもらいました。海外や若者など広い地



インドネシア環境研修団の視察

域、広い世代からの来館があった1年でした。

2月・3月にも、
たくさんの講座を開催します

当館では、大人向け講演会や子ども向けの工作教室など、たくさんの講座を開催しています。館内の展示を疑似体験できる「バーチャルツアー」も、右のQRコードから見ていただくことができます。



問い合わせ先

四日市公害と環境未来館
(☎354-8065 FAX329-5792)



こにゅうどうくんの お部屋 第23回

「かぶせ茶」は飲むだけでは
もったいないよ!

「四日市かぶせ茶レシピ」は、茶業関係者の皆さんからレシピを募集して作成したんだ。市の施設などで配布しているほか、市ホームページ (<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/item62019.html>) でも見られるよ!

かぶせ茶は、粉末はもちろん、茶葉が柔らかいから、飲んだ後の茶殻も、いろんな料理に活用できるんだ。みんなも試してみてね!

市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。今回は、「かぶせ茶」を使ったレシピ集「四日市かぶせ茶レシピ」の中から、とても簡単で、おいしい「かぶせ茶だし巻き」を紹介するよ! ※「facebook」「Twitter」をしているよ。チェックしてね!

かぶせ茶だし巻き



材料 (4人分)

卵 4個
かぶせ茶の茶殻 ... 2~5g
しょうゆ 小さじ2
砂糖 小さじ2
だし汁 大さじ4
サラダ油 適量

※茶殻の分量は、お好みで調整してください

【作り方】

- ① ボウルに卵を割り、Aを入れて軽く混ぜる。
- ② フライパン (卵焼き用) を熱し、サラダ油を引く。
- ③ ①の2/3をフライパンに流し入れ、大きく混ぜる。
- ④ 半熟の状態でも片側に寄せ、形を整えて一度ひっくり返す。
- ⑤ ①の残りを2~3回に分けてフライパンに流し入れ、くるくる巻いていく。



問い合わせ先

農水振興課
(☎354-8180 FAX354-8307)

有料広告掲載欄

~地域とともに160有余年 事前のご相談から至急のご依頼まで 葬儀のことなら24時間365日~



株式会社 ふじや本店
光倫会館
0120-114248
FreeDial

■本社/四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷 2015
[TEL] 059-351-1151 [FAX] 059-351-4224
■光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町 6613
[TEL] 059-325-2482 [FAX] 059-325-2482
■富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田2丁目 3-7
[TEL] 059-361-2481 [FAX] 059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

はもりあ通信

第6回(最終回)

～はもりあフェスタ～

男女共同参画センター「はもりあ四日市」では、毎年2月に、市民の皆さんと協働で「はもりあフェスタ」を開催しています。男女共同参画を身近に感じてもらうとともに、はもりあ四日市に登録しているグループの活動を知ってもらうことを目的として、介護・子育てなど、さまざまなジャンルをテーマに男女共同参画の視点を取り入れたワークショップを行っています。

「はもりあフェスタ」は、はもりあ四日市で行う最も大きなイベントで、夏頃に企画運営委員会を立ち上げ、登録グループの皆さんと共に話し合いながら準備を進めてきました。

開設20周年である今年度は、開催日を2月3日(金)～5日(日)、テーマを「原点回帰」と決めました。そして、オープニングでは、20年を写真などで振り返り、エンディングでは、関わってきた人たちによるパネルディスカッションを開催することとしました。

このように、はもりあ四日市は、市民グループの皆さんとの協働でさ

まざまな事業を進めています。ホームページや広報よっかいちなどで随時お知らせしますので、ぜひご参加ください。



毎年2月に開催する「はもりあフェスタ」のチャレンジショップ

問い合わせ先
男女共同参画課
(☎354-8331 FAX354-8339)

正しいごみ出して クリーンなまちを

第3回

～ごみの減量とごみの分別にご協力ください～

昨年4月から四日市市クリーンセンターが稼働し、プラスチック類を「可燃ごみ」として出すことができるようになりました。ごみの分別が分かりやすく、ごみが出しやすくなったとのお声も多くいただいています。

一方、ごみが出しやすくなった影響からか、ごみの量は昨年度の同月比で10%程度増加しています。新しい分別方法になった初年度でもあり、今後もこの状況が続くとは言えませ

んが、ごみの量が増加すれば施設の劣化も早くなります。施設を長く大切に運営していくためにも、ごみを減らすことは重要です。

可能な限り「無駄なものは買わない、もらわない」「ものを大切に、長く使う」ことや、資源物となるものをきちんと分別することも、ごみの減量につながります。

また、スプレー缶やライターなどが誤って可燃ごみや破砕ごみに入り込んでしまうと、収集車両や施設での火災などの事故を引き起こす要因となります。本市でも、昨年12月17日にクリーンセンターのごみピット

平成28年4月から、ごみの処理方法や出し方が変わりました。「3R」リデュース(ごみを減らす)・リユース(繰り返し使う)・リサイクル(資源として再利用する)に取り組み、ルールを守って正しいごみ出しをしましょう。

で火災が発生しましたが、けが人や施設の被害はありませんでした。

今後さらに施設の安全な運営に努めますが、このような事故を防ぐためにも、改めて分別のルールを守り、ごみの減量が進むよう、ご理解とご協力をお願いします。



ごみの出し方はこちらから

問い合わせ先
生活環境課
(☎354-8192 FAX354-4412)

有料広告掲載欄

三重のニュース
いっぱい!

伊勢新聞

本社：津市本町34番6号 PC・スマホ・タブレットで
☎059-224-0003 伊勢新聞 検索

●購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。●



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

本市の主な施策や旬の話題を取り上げるコーナーです。
今回は、森市政のスタートについて紹介します。

第1回

昨年11月27日の市長選挙を経て、12月24日に森市長が田中前市長からバトンを受けました。

12月26日の初当庁の際には、職員や市民など約200人の出迎えを受け、その後、管理職員を対象に訓示をしました。また同日、就任記者会見に臨み、「県内で最も若い首長になる。若さを生かし、行動力のある市長になりたい」などと抱負を述べました。

翌27日には市長の交替に伴う事務引き継ぎがあり、塚田・藤井両副市長立ち合いの下で田中前市長と森

市長が署名をしました。

本年1月4日の仕事始めの式では全職員を対象に訓示を行い、翌5日には、現場の声を聞くため、こども保健福祉課の朝礼に参加しました。今後も順次、各所属の朝礼に参加していきます。

また、新市長の就任を受けて、1月緊急議会が開催され、13日には市長が「元気都市四日市」を実現するために7つの基本方針を掲げて所信表明を行いました。これを受けて、18日・19日に市議会6会派の議員の代表者が質問しました。今月からは2月定例会議会も開催され、新市長、

の下では初めての予算審議となる平成29年度予算案などが上程されます。

今年、市制施行120周年を迎える本市は、森市政とともにスタートしました。



就任後初の議会で所信表明する森市長



市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



第5回四日市かるた大会（1月9日 すわ公園交流館）

本市の名所や特産品、魅力を遊んで学べる「四日市かるた」を使ったかるた大会が開催されました。読み手が札を読み上げると、参加者たちは体を張ってかるたを取り合っていました。幼児から大人まで、皆さん真剣な表情ながら、とても楽しそうでした。



四日市萬古焼見本市（1月13日・14日 ばんこの里会館）

13社の窯元（作り手）が出店した四日市萬古焼の見本市では、土鍋や急須、食器、酒器、花器など、各社工夫を凝らした多彩な商品が展示されました。来場したお客さんは、目に留まった焼き物を手に取り、窯元の話熱心に聞いていました。

有料
広告
掲載
欄

入居者 利用者 募集中

サービス付き高齢者向け住宅
デイサービスセンター併設

ときわホーム自由ヶ丘



お問い合わせ
資料請求 は下記まで

☎059-373-2066

〒513-1124

鈴鹿市自由ヶ丘一丁目17番1号
(三交バス：自由ヶ丘バス停前)
トキワ生活株式会社

三重県取得登録番号103-2 / 居住の権利形態 賃貸借 / 利用料の支払い方式 月払い方式

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

表紙こぼれ話

今年度の表紙のテーマは、「よっかいちのいいところ」です。

四日市の魅力を再発見し、まちをより好きになってもらえるよう、「よっかいちのいいところ」を紹介します。

2月23日は「工場夜景の日」。工場夜景の魅力を発信し、工場夜景観光を発展させるために全国工場夜景都市(7都市)が集まった「第1回全国工場夜景サミット」の開催日に由来しています。



今月の表紙は、工場夜景の聖地「四日市」ならではの美しい輝きをたくさんお届けしたいと思い、SNS風に紹介しました。



下の写真は、日本夜景遺産に認定された四日市港ポートビルの「うみてらす14」から撮影したものです。

皆さんもぜひ、工場夜景を見に行ってお気に入りの一枚を撮影してみてくださいね。



広報紙で動画を見よう

下のQRコードを読み取って、オリジナルアプリ「まるごと四日市」のサイトにアクセスしてね!



四日市市のゆるキャラ® 「まるごと四日市」のサイト
「こにゅうどうくん」

●「まるごと四日市」のサイトの広報紙のメニューを起動して、この「こにゅうどうくん」のイラストや表紙の「広報よっかいち」のロゴにスマートフォンなどをかざせば動画が見られます
※利用には無料アプリ「ぴこんず」のインストールが必要

市の情報発信源 (2月)

CTY 地デジ12ch **よっかいち** ちんねる 手配内

放送時間(20分間)
月・水・金・日 9:30・20:30
火・木・土 12:30・20:30

内容(予定) 1日(水)~10日(金) 2月23日は工場夜景の日
11日(祝)~20日(月) 第2の文化会館 三浜文化会館
21日(火)~28日(火) 高齢になっても暮らしやすいまちに

※番組DVDを市政情報センター、図書館(自動車文庫を含む)、文化交流会館図書室、あさげプラザ図書館で貸し出しています

三重テレビ 地デジ7ch **どてもワグダキ!** 毎月、第3金曜日の「旬感☆みえコーナー」で市の情報を発信。2月は、17日(金) 18:00に放送します

エフエムよっかいち **PORT WAVE 76.8**

「マンスリーよっかいち」(5分間)
第1・3日曜日 8:54・14:54
…市政情報をピックアップしてお届けします
「よっかいち わいわい人探訪!」(5分間)
第2・4日曜日 8:54・14:54
…四日市で生き生きと活動している人の活動現場の声をお届けします

「ALO! YOKKAICHI!」(5分間)
土曜日 19:54
…ポルトガル語による市からのお知らせ
「なるほど! 防災」(5分間)
月曜日 17:30、木曜日 8:30
…災害への心構えなど防災に関するお知らせ
「人権を確かめあう日」(5分間)
毎月22日
2月は7:30・12:54・16:30・18:30

レディオキューブ♥FM三重 FM85.0MHz(市内)
「防災よっかいち」(5分間)
木曜日 12:55
…防災に関する情報をお届けします
東海ラジオ AM1332kHz FM92.9MHz
「源石和輝 音楽博覧会」内コーナー
「四日市あすなろ鉄道館」(20分間)
日曜日 14:10ごろ

市ホームページ <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp>

有料広告掲載欄

入ってよかった **建労** 四日市支部

随時加入者募集中

働きながら学ぶ夜間講習 **2級建築士 受験準備講座** 受講生募集

2級建築士試験の受験者を対象にした準備講座です。ベテランの講師陣による懇切にいいな指導で、学科と設計・製図の講習をおこない、建築に関する知識のない方にもわかりやすく解説します。女性の受講生も年々増え、建築分野への進出がめざましいものがあります。

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

随時受付中 3月22日(月)切

木造建築科 訓練生募集

訓練校こそ 技能取得への近道。仲間づくりの広場。

- 訓練期間 2年間(4月入校)
- 訓練日 毎週水曜日(昼間)
- 募集人員 20名程度
- 訓練内容 建築大工の養成訓練

随時受付中 3月22日(月)切

三重県認定 四日市建設高等職業訓練校

職業訓練法人 四日市建設職業訓練協会 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,218人 [12月末日現在(前年比-259)] ■火災件数 9件 [12月分(前年比+2)] ■交通事故件数 1,016件 [12月分]